



社会福祉法人 風祭の森

# 太陽の門施設部通信

2024年夏号 第37号

社会福祉法人 風祭の森 施設部  
施設長 北條 彰

〒250-0032

神奈川県小田原市風祭563

電話: 0465-24-6561

FAX: 0465-21-6506

E-mailアドレス

mail@kazamatsurinomori.or.jp

ホームページアドレス

<https://kazamatsurinomori.or.jp>

編集 関口隆博 内田直之

杉崎佑里華 松本眞弓

松田眞弓 田口明子

## 新施設長就任のご挨拶

はじめまして。

本年度より太陽の門福祉医療センターの施設長に就任いたしました北條彰と申します。太陽の門福祉医療センターをより良い医療福祉施設にするために尽力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



僭越ながら、少し私の生育歴（生い立ち）と経歴について簡単に紹介させていただきます。私には年齢の近い弟がおりまして知的障害があります。幼少期には弟の療育施設に付いて行ったり、学生時代には弟の特別支援学校（当時は養護学校）にお迎えに行ったり行事に参加したこともあり、比較的身近に障害福祉がある環境で育ったと思います。

両親は弟の世話が大変な中、私に十分な勉強の機会を与えてくれ、私は医師になることができました。医師になった私は大学病院で小児科を専攻しました。小児科では0歳から思春期までのあらゆる子どもの病気の診断や治療を一生懸命学び、その後小児神経を専門とするようになりました。小児神経の専門外来で、てんかんや発達障害や変性疾患など様々な疾患の患者さんを担当しました。担当患者さんの中には重症心身障害児（者）の方もたくさんおり、保護者が生活介護や医療ケアにご苦労されている状況もありつつ、明るく献身的にサポートしている様子が印象的でした。そして外来で重症心身障害児（者）とご家族に関わっていく中で、色々な福祉・サポートがある事を学び、重症心身障害児（者）のための入所施設で勤務することを決めました。

直近3年間は千葉県の医療福祉センターで働いておりましたが、まだまだ福祉については勉強不足部分がありますので日々成長して周りに還元していきたいと思っています。

弟と自分を献身的に育ててくれた両親への尊敬と感謝を胸に、利用者やご家族が安心して過ごせる施設運営に誠心誠意取り組んで参ります。

個別支援面談、面会などで太陽の門にいらっしゃった際は、どうぞお気軽にお声がけください。

みなさまとお会いできるのを心より楽しみにしております。

太陽の門福祉医療センター  
施設長 北條 彰



## 施設部年間活動紹介

施設部では季節に合わせたイベントを行っています。みなさん普段の活動やサークルとは一味違った雰囲気を楽しんでいます。今回はその一部をご紹介します。



### 5月 端午の節句

屋上やベランダにはこいのぼり、入所フロアの入口には兜飾りが飾られています。みんなで手作り兜や甲冑を作って写真撮影をしたり、子どもの日にちなんだデザートを楽しんでいただいています。



### 7月 セタ

セタと言えばお願い事と短冊！という事で施設部でも短冊を書いてお願いをしています。食べたい物、行きたい場所、欲しいものなどなど思い思いの願い事を短冊に書いていました。



### 8月 かき氷

夏を一番感じられるデザートと言えばかき氷ではないでしょうか。施設部では4種のシロップにあんこや練乳、アイスクリームなどのトッピングを用意し、年に一度のかき氷を満喫していただいています。



### 10月 ハロウィン

ハロウィンと言えば衣装！衣装からヘアバンド、手持ち小道具まで色々用意し、利用者も職員もいろいろな衣装をしてイベントを盛り上げます。忘れちゃいけないお菓子やデザートも用意しました。



### 12月 クリスマス

年間行事として、秋祭りの次に大きな活動です。普段とは違う豪華な食事、美味しいデザートに飲み物、もちろんプレゼントも用意しています。去年はサンタとゆかいな仲間たちが着て一緒にパーティーを楽しみました。



### 1月 お正月遊び

今年は正月遊びとしてボッチャ風にアレンジした福笑いを開催しました。なかなか狙ったところにはかず、とても面白い顔が出来上がりました。

## 「日常」に活かせる訓練を目指して

こんにちは。今まで私たちリハビリは入居者の方々とミラアカ「未来(ミライ)はきっと明(アカ)るい会」を通して、

- ①利用者の能力や笑顔を最大限に引き出す。
  - ②今までにない新しい発想で活動に挑戦する。
  - ③その場にいる全員で同じ空気・感情を共有する。
- を目標に活動を行ってきました。

今年度からは、「粗大サークルの一員」としてリハビリも参加させていただくことになりました。上記の目標は継続しつつ、リハビリの考える目標（身体的な目標や日常の楽しい活動を増やす事）を活動内容に取り入れてもらうことで、みんなで共有して考えていきたいと思っています。そして粗大サークルという枠を飛び出して、施設部スタッフがいつでも・誰でも活動していただければ利用者の「日常」に活かすことができるのではないかと考えています。

私たちリハビリも一緒に考えて・一緒に楽しい時間を過ごすことで、少しでも利用者の「日常」にいさせてもらうことができたら幸せだなあと考えています。今年度も一生懸命頑張りますので何卒よろしくお願いいたします。

また、外来・通所利用の方々も、身体のことや補装具関係のこと、その他ご質問(日常生活に関すること・遊びのこと等)がございましたら、お気軽にお声かけいただければと思います。

土山(PT) 清水(OT) 順風(PT)

### 「ぐるぐるルーレット」

座位保持と、ボール投げが得意なメンバーをターゲットにした活動です。メンバーはルーレットの中心に座り、周りをぐるぐる回転する羽に向けてボールを投げ、得点を競います。ボールもメンバーの興味や特性に合わせて数種類用意しました。カラフルなルーレットや目の前で転がるボールをみなさん楽しんでいるようでした。



# 新入職員紹介



12月1日付で太陽の門に入職した、酒巻慎之介です。以前は、障がい者グループホームで半年ほど働いていました。この業界に入ってまだ日が浅いのでこれから様々な事を吸収していきたいと思っています。よろしくお願いします。



1月より支援課職員として働くことになりました、相田学と申します。以前は、介護付き有料老人ホームでケアワーカーとして働いていました。ご利用者の喜びに寄り添い彼らの生活に潤いと笑顔あふれる日々を過ごせる様、寄り添い、サポートに励んでまいります。空を見ることが趣味で空の広がり、時間によって移りゆく流れを彼らとも共有できればと考えております。どうぞよろしくお願いします。



4月入職の土山です。理学療法士として12年間一般病院で働いていました。学びの多い毎日ですが、牛の歩でもひとつひとつ出来ることを増やしていき、一職員として早く馴染めるよう努め、頑張っていきます。よろしくお願いします。



日本財団の支援により、**Vscan(ポータブルエコー)**を導入しました。

## 編集 後記

梅雨も明け、夏がやってきましたね。今年は梅雨明け前、7月入ってすぐに小田原37.9℃という日があり、夏本番はどうなるのかと心配しています。既に色々なお店から暑さ対策グッズが販売されており、夏を乗り切るために何か購入した方が良いのでは…と考えています。首回りを冷やす物や、ひんやり寝具、日傘などなど…たくさんあって迷いますね。みなさんも暑さ対策と水分補給（塩分補給も忘れずに！）をして酷暑を乗り切りましょう！